

## 2010.12.1「中井治衆院予算委員長 即刻議員辞職しろ！」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

今国会の会期は12月3日までですが、先週末に我々は菅内閣の仙谷官房長官と馬淵国土交通大臣の間責決議を提出しました。彼らを罷免、若しくは辞任させないと審議に応じられないというメッセージを発したのですが、その答えは民主党の対応に懸かっています。参議院で問責の決議がされたにもかかわらず、この二人の大臣は反省の弁すらありません。この問責は単に自民党だけの意見ではなく、他の野党を含めたものであり、それが参議院で賛成多数で可決されたのです。つまり、「二人は大臣にふさわしくない。彼らを変えないと審議に応じることは出来ない」と言っているのです。これを放置すること自体とんでもないことですが、それを彼らは我々が審議拒否をしているように言っております。我々は審議拒否をしているのではありません。彼らがしてきたこれまで発言や、尖閣問題の政治的な責任を彼らは全く考えて無いのです。これらのことを彼らはどのように考えているのでしょうか。国民の常識からすれば考えられない話です。少なくとも問題の大臣が辞め、然るべき方がその後に就くようであれば、話をするというメッセージのボールを投げたのですから、そのボールをあずかった彼らにしっかり責任を果たして頂かないと困ります。

そして11月29日月曜日、国会開設120周年の記念式典が参議院の本会議

場でありました。この式典には天皇皇后両陛下と秋篠宮殿下ご夫妻をお招きしましたが、ここでも彼らは醜態を晒しました。先ず、民主党の議員は衆議院に306人もいるわけですが、彼らはほとんど出席していません。さらに、出席してきている議員の中に大変な無礼を働いた議員もいました。中井治衆議院予算委員長です。

本来であれば、初めに秋篠宮殿下が本会議場に入場され、続いて天皇陛下が入場される予定になっており、その間は起立して陛下を待つことになっていました。ところが、中井委員長は秋篠宮殿下に「早く座れよ。そうでなければ我々が座れないじゃないか」と嘯いたと、今日の産経新聞に書いてありました。これは言語道断です。この件に関して、複数の議員からその発言を聞いたという確認を私もしております。この発言からわかるように、彼には皇室に対して尊敬の念も慮る気持ちも全く無いことが分かります。中井議員は国家公安委員長を経験され、今は衆議院の予算委員長という非常に大きな役職を努めていますが、国会議員以前に、日本国民としての常識すらないので、私は即刻議員辞任をすべきだと思っております。

また、国家公安委員長の時も女性を議員宿舎に入れていたと報道されていますが、今回はその様なプライベートな問題ではありません。国会議員としての品位もなければ、国民の見本にもならないとんでもない人物です。

民主党の悪態は枚挙に暇がありません。その政策は無茶苦茶です。先日、自

民党の税制調査会に出席し、民主党政権が考えている来年度以降の税制について聞いてきました。前回の選挙においてガソリン税の暫定税率を廃止するとマニフェストに謳っておきながら、政権を取っても放置していることはご存じの通りですが、驚いたのは、民主党は暫定税率を廃止し、恒久財源化するというのです。つまり暫定税率分だけは新しい税金で取ろうとしているということです。その上、環境税と称して二酸化炭素を排出する化石燃料からプラスアルファの税金を取るのですから、公約を反故にしたというよりも、そもそも出鱈目であったと言えます。これが、何の説明もなしに始められようとしており、私は自分の耳を疑ってしまいました。

もはや、民主党に個々の政策の問題を正していても意味がありません。中井委員長も、仙谷官房長官も馬淵国交大臣等の閣僚に責任感がないのです。さらに酷いのは、北沢防衛大臣による事務次官通達です。自衛隊の行事に出席する民間人に対して言論統制をしようとしているのです。また、岡崎トミ子国家公安委員長を始め、菅内閣は問題のある閣僚ばかりであり、総辞職以外ないわけです。そして、もう一度国民に信を問うべきではないでしょうか。もう一度国民の信を問えば、こんな政権を選択することはありえません。このような状況を打破するべく私達はしっかり菅内閣を追及しなければならないと思っております。今後とも皆様方の御支援よろしくお願い致します。ありがとうございました。